

広島大学・大学院人間社会科学研究所（人間総合科学プログラム）主催
新研究科設立記念セミナー 第1回

美術館×広島大学×アーティストの共演

感性知を活かす市民づくり・街づくり

大学と美術館を踊り場に、研究者・芸術家・市民・行政は一緒にどんな夢を紡げるか？
地域に根ざし世界を見つめ、「感性知」をキーワードに新たな文化創造のかたちを問う。



【企画&司会進行】

桑島 秀樹

KUWAJIMA Hideki

広島大学大学院人間社会科学研究所
（人間総合科学プログラム）教授
美学・感性文化論



【ゲスト登壇者】

藤岡 亜弥

FUJIOKA Aya

アーティスト／写真家



【ゲスト登壇者】

松田 弘

MATSUDA Hiroshi

東広島市立美術館館長



【指定コメンテーター】

浅野 敏久

ASANO Toshihisa

広島大学大学院人間社会科学研究所
（人間総合科学プログラム）教授
エコミュージアム研究

【開催日程】

2021年12月11日(土)

17:00-19:00 オンライン

申込期限 2021年12月9日(木)

※登壇者は、広島大学・国際交流拠点
「ミライクリエ」より放映

開催方法

ZOOMオンライン会議（一般参加歓迎／無料:定員300名）

お申込み

以下のURLまたはQRコードから参加者登録をお願いします。

お申し込みいただいた方には、開催までに、当日有効な
ZOOMミーティングのIDとパスコードをご登録のメール
アドレス宛にお送りします。（申込期限:2021年12月9日）

<https://forms.office.com/r/qt7Y5gxVmp>

お問い合わせ

kuwajima@hiroshima-u.ac.jp（桑島）



広島大学・大学院人間社会科学研究所（人間総合科学プログラム）主催

新研究科設立記念セミナー 第1回

美術館×広島大学×アーティストの共演

感性知を活かす市民づくり・街づくり

2021年12月11日(土)17:00-19:00

申込期限 2021年12月9日(木)

ZOOMオンライン開催／一般参加歓迎・無料 ※要事前申込み：定員300名先着順

2020年4月、広島大学の大学院統合・再編を経て、新たに人文社会系分野を包括する「人間社会科学研究所」が設立されました。今回のシンポジウムは、その設立を言祝ぐ記念セミナーであり、人間総合科学プログラム（旧総合科学研究科を母体とする学位プログラム）が担当して開催するものです。文理融合的・総合科学的な共創知の基礎を「感性知」に見出し、これをキーワードとして市民づくり・街づくりの未来形を探ります。

ゲスト登壇者には、長らく美術館行政にかかわってきた松田弘氏（東広島市立美術館館長）、国際経験豊かで東広島の街おこしにも携わってきた藤岡亜弥氏（アーティスト・木村伊兵衛写真家）を迎え、企画＆司会進行に新研究科人間総合科学プログラムの桑島秀樹（広島大学教授・東広島市立美術館協議会会長／美学・感性文化論）、指定コメンテーターに同プログラムの浅野敏久（広島大学教授・前広島大学総合博物館館長／エコミュージアム研究）を配して、大学、ミュージアム、地域を舞台に、そこに生きる多様な人々が一緒にどんな夢を紡げるかを語り合います。

この企画が、広島大学の秘める分野融合的な人文社会分野の観知を社会に開いていく一助となれば幸いです。（文責：桑島）

【企画＆司会進行】

▼桑島 秀樹 (KUWAJIMA Hideki)

▼広島大学大学院人間社会科学研究所（人間総合科学プログラム）教授／美学・感性文化論

群馬県生まれ。大阪大学文学部美学科卒業、同大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）。専門は、美学芸術学・感性哲学・文化創造論。2004年広島大学総合科学部助教授。2016年同大学院総合科学研究科教授を経て現職。東広島市文化懇話会座長、東広島市立美術館協議会会長（現在）。主著に『崇高の美学』（講談社 2008）、『生と死のケルト美学：アイルランド映画に読むヨーロッパ文化の古層』（法政大学出版局 2016、木村重信民族芸術学会賞）、『司馬遼太郎 旅する感性』（世界思想社 2020）など。

【ゲスト登壇者】

▼藤岡 亜弥 (FUJIOKA Aya)

▼アーティスト／写真家

広島県呉市生まれ。日本大学芸術学部写真学科卒業。台湾師範大学留学。エストニア、フィンランドなど欧州諸国に滞在。2007年文化庁新進芸術家海外派遣制度奨学生としてNYに滞在。2012年帰国、2017年より東広島に在住し地域おこしに携わる。戦後70年を経た広島のことをとらえた写真集『川はゆく』（赤タ舎 2017）で伊奈信男賞、林忠彦賞、木村伊兵衛賞。ほか写真集に『さよならを教えて』（ビジュアルアーツ出版 2004）、『私は眠らない』（赤タ舎 2009）。横浜美術大学映像メディアデザインコース講師。

【ゲスト登壇者】

▼松田 弘 (MATSUDA Hiroshi)

▼東広島市立美術館館長

島根県生まれ。早稲田大学第一文学部（美術史学）卒業。東京学芸大学職員を経て広島県立美術館学芸課長。呉市立美術館館長の後、2018年より現職。広島大学、比治山大学、東亜大学、広島市立大学等で非常勤講師。長崎県新美術館基本構想専門家会議委員、財団法人地域創造企画委員、臨床美術学会理事等を歴任。広島県立美術館では「20世紀美術の誕生展」「パウハウス ガラスのユートピア展」「マルク・シャガール展」「広島から広島ドームが見続けた街展」などを担当。

【指定コメンテーター】

▼浅野 敏久 (ASANO Toshihisa)

▼広島大学大学院人間社会科学研究所（人間総合科学プログラム）教授／エコミュージアム研究

東京都生まれ。東京大学教養学部（人文地理学）卒業、同大学院理学研究科博士課程後期中退。博士（学術）。専門は人文地理学・エコミュージアム研究。1996年広島大学総合科学部講師。2014年同大学院総合科学研究科教授を経て現職。環境に関わる市民活動を研究中。主著に『穴道湖・中海と霞ヶ浦：環境運動の地理学』（古今書院 2008）、編著に『環境問題の現場から』（古今書院 2003）、『自然の社会地理』（海青社 2013）など。2019～20年度広大総合博物館館長。日本エコミュージアム研究会理事。